

パオちゃん's EYE

2020年6月1日発行 No.39

「畠田和一貝類コレクション展2」

「岡山県版レッドデータブック」は岡山県内における絶滅した野生生物と絶滅のおそれのある野生生物を掲載したもので、改定第3版が今年3月に冊子と岡山県のホームページで公開されました。動物の掲載種数は2003年の初版420種、2010年の第2版646種、今回の第3版863種と改定のたびに増えています。

今回の改定で特筆すべきは貝類の絶滅種が大幅に増加したことで、第2版では13種だったものが第3版では71種となっています。これには畠田和一貝類コレクション（約24,000点）の再発見によるところが大です。畠田和一氏は1930～1960年代、岡山県内を中心に精力的に貝類の収集を行いました。標本は長らく行方知れずとなっていたのですが、最近になってその存在が確認されました。岡山大学の福田宏准教授らによって標本が精査され、学術的に極めて価値の高い、超一級のコレクションであることが確かめられました。コレクションの中には標本の存在によってその種が岡山県にかつて分布していたことが初めて明らかになった種が多数含まれていました。それらは現在岡山県で分布が確認できないため、畠田氏が採集した後の時代に絶滅したものと考えられます。

当館は再発見に関わったというご縁もあって、現在コレクションを保管し、研究に供するほか、いくつかのテーマに沿って特別陳列を行っています。現在はその第2回



「畠田和一が採集していた絶滅種1」としてハイガイやチリメンユキガイなど12種を2階事務室前にて9月27日（日）まで展示しています。現在、標本写真と解説文をホームページでもご覧いただけます。

江田伸司(動物担当)

パオちゃんズアイに関するお問い合わせは

倉敷市立自然史博物館

〒710-0046 岡山県倉敷市中央2-6-1

電話:(086)425-6037 FAX:(086)425-6038

E-mail:musnat@city.kurashiki.okayama.jp

博物館ホームページには
いろいろな情報がいっぱい♪
「倉敷市立自然史博物館」で
検索してみよう! パオより

